

発行所

株式会社FPシミュレーション

大阪市中央区平野町3-1-10 Tel :06-6209-7678

編集発行人:税理士 三輪 厚二 Fax :06-6209-8145

↳ 国税不服審判所、裁決事例を公表

Q : 国税不服審判所が、このたび裁決事例を公表したそうですが、どのような内容だったのか教えてください。

A : 平成16年1月から6月までの裁決事例42例が公表されました。主な内容は、次のとおりです。

【解説】

国税不服審判所は、このほど、平成16年上半期の裁決事例をホームページ上で (<http://www.kfs.go.jp>) 公表しました。内訳は、国税通則法関係が9例、所得税法関係が13例、法人税法関係が4例、相続税法関係が11例、消費税法関係が3例、登録免許税関係が2例の計42例となっています。

これで、平成8年に公開された分から数えますと、総数1,607例にのびります。

今回公表されました事例には、次のようなものがあります。

① 国税通則法関係

請求人以外の共同相続人が行った相続財産の隠ぺい行為に基づく相続税の過少申告について、請求人に重加算税を賦課決定することができる判断した事例

② 相続税関係

時価と著しく乖離する売買価額で被相続人と同族会社が交わした不動産売買取引について、原処分庁が相続税の課税価額を相続税法第64条第1項の規定(同族会社の行為計算の否認)を適用して計算したことは適法であるとした事例

